

平成27年度 有老協サービス第三者評価結果

ホームID	ホーム名	法人名	評価日
2711	セラヴィ神前	ケアマネジメント(株)	H27.11.4
有老協HPでの評価結果公表希望		有・	
評価機関	特定非営利あい・ライフサポートシステムズ		

評価結果

スケールNo.	自己評価	機関評価	スケールNo.	自己評価	機関評価	スケールNo.	自己評価	機関評価
1.1.1	A	B	2.3.4	B	B	6.2.1	A	A
1.1.2	B	B	2.3.5	B	A	6.2.2	A	A
1.1.3	B	C	2.3.6	A	A	6.2.3	A	A
1.1.4	A	A	2.3.7	C	B	6.2.4	C	A
1.2.1	A	A	2.3.8	B	C	6.2.5	A	A
1.2.2	B	A	2.3.9	A	A	6.2.6	A	A
1.2.3	C	A	2.3.10	A	A	6.2.7	A	B
1.3.1	A	A	2.3.11	A	A	6.2.8	A	A
1.3.2	B	A	2.4.1	C	B	6.2.9	A	A
1.3.3	A	A	2.4.2	C	B	6.3.1	C	A
1.4.1	B	B	2.4.3	B	A	6.3.2	B	A
1.4.2	B	B	2.4.4	A	A	6.3.3	C	B
1.4.3	B	B	2.4.5	A	A	7.1.1	C	A
1.4.4	B	B	2.4.6	B	A	7.1.2	A	A
1.4.5	B	A	3.1.1	A	A	7.2.1	B	A
1.4.6	B	A	3.1.2	A	A	7.3.1	B	B
1.4.7	C	A	3.1.3	B	B	7.3.2	A	A
1.4.8	A	A	3.1.4	A	A	7.3.3	A	A
1.5.1	B	A	3.1.5	A	A	7.3.4	A	A
1.5.2	B	A	3.1.6	A	A	7.4.1	B	B
1.5.3	A	A	3.1.7	B	A	7.4.2	A	A
2.1.1	A	A	4.1.1	B	A	7.4.3	A	A
2.1.2	B	A	4.1.2	C	C	7.4.4	A	B
2.2.1	A	A	4.1.3	A	A	7.4.5	A	A
2.2.2	A	A	4.1.4	B	A	7.5.1	A	A
2.2.3	A	非	4.2.1	A	A	7.5.2	A	A
2.2.4	A	A	4.2.2	A	A	7.5.3	B	A
2.2.5	B	A	5.1.1	A	A	7.5.4	A	A
2.2.6	A	A	5.1.2	B	B	7.5.5	A	A
2.2.7	A	A	5.2.1	A	A	7.5.6	B	A
2.2.8	A	A	5.2.2	A	A	7.5.7	B	A
2.2.9	A	A	5.2.3	A	A	7.6.1	A	A
2.2.10	A	A	5.2.4	C	C	7.6.2	A	A
2.2.11	A	A	5.2.5	A	A	7.6.3	A	A
2.3.1	B	B	6.1.1	A	A			
2.3.2	B	B	6.1.2	A	A			
2.3.3	C	A	6.1.3	A	A			

## 評価機関の所見

### 1. 優れた取り組みと思われる点

スケール	所見
1-5-1	入居者の権利擁護について、「権利擁護指針」や「苦情相談事故対応マニュアル」、「個人情報取扱規程」を各階の談話スペース等見やすい所に掲示し、職員や入居者並びに家族に周知しています。また、各入居者のアセスメントシートの中に、権利擁護の必要性をチェックする項目が設けられていることなど、事業所全体で権利擁護に対し積極的に情報を開示する取り組みが行われていることが確認できました。
2-3-5 2-3-6	ホームが適切な運営を行う上では、入居者や家族の意見・要望を木目細かく取り入れること、更には運営内容について、入居者並びに家族との定期的な協議を行う場を設けることは極めて重要であります。当ホームでは「運営懇談会細則」に基づき、毎月2回運営懇談会を開催しています。内1回は第3木曜日利用者との懇談会、そして第4土曜日は家族を含めた懇談会としています。家族を含めた懇談会では、飲食をしながらの時もあり、意見の出やすい雰囲気づくりに配慮しています。又、運営懇談会の議事録については、開催の都度、全ての入居者や身元引受人に配布すると共に、ホーム内に掲示するなどして説明・報告を行っています。
4-2-2	日々の入居者との対話の中や運営懇談会などで提起された入居者からの要望に応え、月毎のアクティビティを計画・実施しています。春の園遊会、秋の園遊会、更には宿泊を伴う温泉旅行や紅葉見物等、シーズン毎に工夫を凝らした内容のイベントや、買い物ツアー、音楽療法など月毎のアクティビティを計画書に基づいて実施しています。又、行事実施後には必ず行事実施報告書を作成し、反省点や課題を明確にしながら、次の行事計画に反映する仕組みが確立されています。
3-1-6	各フロアの共有スペースは、入居者が主催する定期的なサークル活動（茶話会、カラオケ、俳句、手芸など）を行うことが出来るよう、広めの共有スペースが確保されています。ホーム内各階の共有スペースの一角に、植物の香り漂う「アロマテラピー」の機器がおしゃれな形でさりげなく設置されています。「ラベンダーの香り」や「ローズマリーの香り」をかぐと心が落ち着いたり、気分が華やかになれる、そうした特質を活かし、入居者のリラックス効果を引き出す工夫がなされています。
5-1-1 5-2-3	人間が心身共に健康に生きていく為には、1日3度の食事を楽しみながら食べることは極めて大切なことでもあります。又、必要な栄養素を過不足なく、バランス良く食べることも健康の秘訣です。当ホームでは朝食2種類、昼食3種類、夕食4種類の選択食に加えその他のアラカルトメニューが毎日提供されています。又、季節に応じた旬の食材を使ったメニューにも配慮され、入居者に季節感を感じて頂く工夫がなされています。食に関する入居者の満足を得るためのこだわりが感じられます。更に、食事の提供時間帯を過ぎても、温めて提供する等、常に適温提供がなされています。
7-5-5	日常生活を営むのに必要な身体機能の減退を防止するために、数種類の機能訓練機器を設置した機能訓練室を設けています。入居者1人1人に対して個別機能訓練計画書を作成し、柔道整復師が指導に当たっています。人間が幸せを感じる一つの要素である「行きたい所に、何時でも、自分の足で行ける」ことの大切さを重要視したサービスの提供に努めています。

### 2. さらに取り組むことで、より質の向上が可能と考えられる点

スケール	所見
1-1-1 1-1-2 1-1-3	法人として、事業運営に関する法令遵守の姿勢や企業倫理に関する研修を、年間の研修計画に基づいて社長自らが実施しています。しかし、有老協がマネージメントツールとして会員に指し示す「自主行動基準」の策定がなされていません。法令等は、企業活動上最低限必要とされるルールではありますが、「自主行動基準」は企業ごとに策定し、目指すべき企業像や職員像を定めて運用することで、効率的なマネージメントツールとして推奨されるものです。入居者や家族、地域の関係機関等との信頼関係の構築や、企業運営の透明性、経営の誠実性が、より一層高まるものとして、「自主行動基準」の策定に基づく事業運営が期待されます。
1-4-1 1-4-2 1-4-4	法人の理念に沿った質の良いサービスを提供する上で、職員の育成・モチベーションの維持・向上は必須の要件と思われます。職員の採用研修、基礎研修、階層別、課題別研修等、体系的・計画的に育成を図っていくことは極めて重要であり、職員個人個人の能力向上への意向を把握した上で、個別育成計画を策定し実践して行くことが求められます。又、職員の評価は、人事考課表に基づき年2回実施されていますが、現在法人内において、アセッサー3名を養成し、より客観的な評価と育成が行えるよう取り組みを進めています。一方で、職員個人個人が求められる役割と責任を認識する為の職務分掌規定が整備されていません。職員の目標意識やモチベーションの向上に繋げる為にも、職務分掌規程の整備が望まれます。

2-3-8	<p>入居者の食に対する満足度を高める為に、又地域の人達とのオープンな交流の場として、レストラン旬彩が介護保険外の事業として運営されています。入居者や家族とのコミュニケーションの場として、又ホームと地域との交流の場としてレストラン旬彩の果たす役割は大きなものがあると思われます。しかし、ホームとホーム以外の事業、即ちレストラン旬彩との会計の区分がなされていません。ホーム運営に関わる損益・資金収支を明確にする観点から事業会計の区分が求められます。</p>
2-4-1	<p>入居者や家族からの金品の授受については、マニュアル等にその取扱いを定め、一定の歯止めをかけておくことが、入居者や家族との良好な関係性を築く上で大事な視点かと思われます。実際の運営としては「基本受け取らない」を原則にして運営されていますが、具体的な運営基準をマニュアル化し、研修を行うことで職員に周知徹底を図り、無用なトラブルに繋がらない為の事前の策を取られることをお奨めします。</p>